

## 目標達成計画

作成日: 令和 5 年12月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	9/1から大腿骨骨折後の1名の方に車椅子からの立ち上がり、移動による転倒の危険性が高く、移動がある時に安全ベルトを一時的に使用している。	身体拘束に頼らないケアを行う	11/30で身体拘束安全ベルトを解除し、見守りや移動時の対話や入床介助を行うことで、転倒予防に努めている。	3ヶ月
2	10	利用者、家族、または職員の意見の反映	それぞれの立場においてホームでの生活、ケアに関する納得と信頼が得られること。	利用者、家族の希望に耳を傾ける機会を積極的に持つようにする。スタッフの意見交換を日常的に行い互いの気付きを共有する。	6ヶ月
3	2	地域との繋がり	地域における認知度の向上と住民の方々に親しみを持っていただけるように努め、つながりを作っていきたい。	運動会、祭り、イベント、保育園や小学校など、積極的に様々な交流の機会を活かして関係づくりに活かしたい。また、介護の体験学習などの受け皿など役割も増やしていきたい。	6ヶ月
4	35	災害対策 — 2階からの避難方法	2階から階段を通して避難する方法の実践を行う。	ベットマットレスごと臥床したままで避難する方法を身につける。	6ヶ月
5	35	災害対策 — 地域との協力体制	災害時、緊急時の避難に際して地域の方々との連携により相互協力できる体制を構築する。	施設の状況などを知っていただけるチラシや冊子など配布したり、日常的な挨拶や関わり、協力依頼などを継続する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。